

事業所名: グループホーム 南十字星

作成日: R7年 5月 7日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	・運営推進会議を活かした取り組み 今後も引き続き、家族・地域の方々の参加をお願いし、地域のネットワーク作りを行うと共に、子供達との交流方法等を検討していく予定である。	運営推進会議の中で、地域の方々に参加していただき、地域行事参加、並びに施設行事への参加促しの働きかけを行っていき、地域と共に歩む関係性を作っていきたい。	・運営推進会議の中で、行政区役員の方々と、地域と施設が密接に係れるような意見交流を行いつつ、施設職員が地域の行事にも積極的に参加したり、施設行事に地域住民の方々が参加していただくことで、良好な関係性の構築・保持が出来る環境作りを実施する。子供たちとの交流方法(施設の取り組みキッズ・サポーター)は施設の状況を見つつ、随時計画、実施していく。	12ヶ月
2	28	・チームでつくる介護計画とモニタリング ①今後もアセスメントにADL(起き上がり・立位・歩行等)の能力共に、IADLを含めた各活動の出来そうな事、一部介助の詳細な内容、要望、ケア内容(解決策)等を含めた分析結果を増やし、アセスメント内容と介護計画の整合性を整えていく予定である。 ②ヒヤリハットや事故発生時に行った原因と対策をアセスメントと介護計画に反映するとともに日課計画表等に留意点を追記し、ご本人と家族の話し合いを増やしていく。	課題点、改善点が明確に分かる書類整備を行い、介護計画書に適切に反映ができ、質の高いサービスが継続して提供できるようにしたい。	①本来の形でもある「介護計画書の基礎となる」を念頭に置き、ご利用者の基本情報や心身状態、必要な支援内容がしっかりと組み込まれ、課題把握、計画書に落とし込みができ、満足度の高いケア・サービスが継続的に出来るようにする。 ②ヒヤリハット及び事故発生時に原因、対策を計画書に反映することが出来る様、日課計画書に「留意点」を設け、ケアサービス提供をしていく中で、ご利用者、ご家族が安心してケアを受けられるような環境を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月